

「フェニックス楽市」来季開始

チーム公認の地域応援マルシェ

「豊橋百農人」が協力
料理や農畜産物販売

来月3日にプレイベント

プロバスケットボールTKBブリーグの浜松・東三河フェニックスは、チーム公認の地域応援マルシェ「フェニックス楽市」を来シーズンから始める。豊橋などの農家らでつくる「豊橋百農人（ひゃくのうじん）」（鈴木義弘代表）が協力し、こだわりの農畜産物を使った料理を提供する。4月3日にはホームアリーナの豊橋市総合体育館でプレイベントを開催。時間は午前10時～午後3時。（飯塚雪）



フェニックス楽市をPRする浜武社長（左から2番目）と鈴木代表（同3番目）＝豊橋市役所で

国内リーグ統一で始まる今秋の新リーグに向け、従来のサポーター以外の客層の確保や、地域貢献の狙いがある。

18日、豊橋市役所で会見した浜武恭生社長は「スポーツを通じた地域密着のまちづくり。食とスポーツ、2つの楽しさをコラボレーションすることで、地域を笑顔にしたい」と話した。

プレイベントでは、百農人が作った農産物やあいち鴨（かも）、アユ、大あさりなど地元食材を使った料理の提供や農産物の対面販売、手工芸作家のブースが33店並ぶ。

新シリーズ開幕までに市内のイベントで計4回ほどプレイベントを開催する予定で、売上や集客の調査、出展者の選定を行っていくという。

シリーズ60戦中半分を占めるアウェーの試合でも開催を考えており、百農人の鈴木代表は「浜松・東三河の良いものを全国へ発信していきたい」と意気込む。

プレイベントは入場無料。問い合わせは豊橋百農人事務局（0532・48・5980）へ。